



Title	[序]
Citation	北海道帝國大學法經會法經會論叢, 9
Issue Date	1941-04
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/11293
Type	other
Note	中島九郎の肖像あり
File Information	09.pdf



[Instructions for use](#)



北海道帝國大學教授農學博士中島九郎先生は明治四十三年札幌農學校農學科を卒業されてから、直ちに母校に職を奉ぜられ、爾來、東北帝國大學舊農科大學農學第二部更に北海道帝國大學農學部農業經濟學科と名は變つても一貫した本教室を守り続け、其の發展に努力し、後進を養成し、卅年の歲月を經られた。故佐藤昌介先生並びに高岡熊雄先生を助けて其の後を嗣がれた。即ち農業經營學、農史學及農政學等を研鑽講述して居られる。先生は、世間に出ず、名を賣らず、學殖を深藏された。一例を云へば、先生は獨逸農業經濟學の權威なる、フオンデア、ゴルトツの農業經營學やブーヘンベルガーの農政學まで全譯されたが、筐底に藏してしまはれたと云ふ。尤も一度發表さるゝや他を壓するものがある。例へば北海道帝國大學に於て、學位令第二條に依る學位授與の先頭を切つた、「特に議會討論を通じて見たる米國土地制度の發展」(同大學紀要英文)の如き、又名は明にせられぬが主として先生の筆になる「創基五十年北海道帝國大學沿革史」の如き立派な業績がある。細かいやうだが、文字に造詣の深い先生が適當なる題名等を與へらるゝ例は、高岡熊雄先生在職卅五年記念論文集に「農政と經濟」とつけられた如きである。本會の「法經會」と云ふ名も同様に先生に負ふて居る。以上の如くして我等は先生の學恩に浴することが多い。何とかして之に報じたく思ふたが、時局多

忙又窘窮充分のことをなし得ず、僅に本論叢を捧ぐるを以て微意を表するに至つた。それでも古今東西に渉る問題を扱ふて、學界に貢獻せんとし、先生の指導に背かざらんことを努めたることを喜んでいただきたいのである。

昭和十六年四月

執筆者一同